



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社コラントッテ 上場取引所 東
 コード番号 7792 URL <https://colantotte.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小松 克巳
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理統括本部長（氏名） 井阪 義昭 (TEL) 06-6258-7350
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第3四半期の業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	4,088	18.5	922	15.8	932	16.5	606	13.2
2022年9月期第3四半期	3,450	27.0	796	40.2	800	43.3	535	42.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年9月期第3四半期	67.59		66.38					
2022年9月期第3四半期	60.01		58.63					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	4,567	3,225	70.6
2022年9月期	4,103	2,745	66.9

（参考）自己資本 2023年9月期第3四半期 3,225百万円 2022年9月期 2,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期(予想)				20.00	20.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	11.5	1,050	10.4	1,050	9.9	680	11.4	75.90

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期3Q	8,980,500株	2022年9月期	8,958,900株
2023年9月期3Q	42株	2022年9月期	42株
2023年9月期3Q	8,971,441株	2022年9月期3Q	8,922,489株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和やインバウンドの増加等により社会経済活動に回復の動きが見られました。

当社が営んでいる事業につきましても、当社の強みであるスポーツ市場における行動制限の緩和等、市場環境の好転が見られたものの、ウクライナ情勢の長期化に伴う世界的な原材料・資源価格の高騰による物価の上昇、欧米諸国等の金融引き締め政策による円安の進行等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、「本気の実現」という経営理念の下、社会的課題である「生活の質」＝QOL(Quality Of Life)の向上に貢献するための事業を展開し、社会的価値と同時に企業価値の向上に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間につきましては、新製品の市場投入や当社契約選手によるイベントの開催、また、SNS等を活用したマーケティング活動の強化により認知度の向上に努めると共に、主要取引先との関係強化と取引拡大等、営業活動の強化に取り組みました。

このような全社での経営強化策の下、ホールセール部門につきましては、インバウンドの増加や既存取引先から大口の受注があったこと等により、売上高は2,776,202千円（前年同期比13.6%増）となりました。

イーコマース部門につきましては、ワールド・ベースボール・クラシックによる当社契約選手の活躍やSNS等を核としたマーケティング活動の強化による認知度向上が進み、国内での自社サイト及びECモール自社店舗が好調に推移いたしました。また、越境ECにつきましては、新たに2023年6月に中国版TikTok（抖音）のECプラットフォームである「抖音電商全球購（Douyin EC Global）」に出店いたしました。以上の結果、売上高は1,001,184千円（前年同期比35.8%増）となりました。

リテール部門につきましては、行動制限が緩和されたこと及びマーケティング活動の強化やインバウンドの増加等により、来店客数が増加し堅調に推移いたしました。また、2023年6月には「たまプラーザテラス」（神奈川県横浜市）に新規出店いたしました結果、売上高は311,530千円（前年同期比15.5%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高につきましては、4,088,917千円（前年同期比18.5%増）となりました。利益面につきましては、業務の効率化や徹底したコスト管理を図った結果、営業利益は922,134千円（前年同期比15.8%増）、経常利益は932,496千円（前年同期比16.5%増）、四半期純利益は606,335千円（前年同期比13.2%増）となりました。

なお、当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとみなせるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は3,671,181千円となり、前事業年度末と比較して415,154千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が95,172千円減少した一方で、現金及び預金が345,262千円、電子記録債権が40,381千円、原材料及び貯蔵品が119,327千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は896,246千円となり、前事業年度末と比較して48,371千円増加いたしました。これは主に、建物（純額）が13,625千円、投資その他の資産が29,863千円それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の資産合計は4,567,427千円となり、前事業年度末と比較して463,526千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は1,227,475千円となり、前事業年度末と比較して25,312千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が71,183千円減少した一方で、電子記録債務が56,875千円、買掛金が27,666千円、賞与引当金が23,243千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は114,664千円となり、前事業年度末と比較して41,608千円減少いたしました。これは主に、社債が22,500千円、長期借入金が22,500千円それぞれ減少したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の負債合計は1,342,140千円となり、前事業年度末と比較して16,295千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は3,225,287千円となり、前事業年度末と比較して479,821千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が462,993千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績は予定どおり進捗しており、2022年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,340,200	1,685,463
受取手形及び売掛金	647,871	552,698
電子記録債権	175,565	215,946
製品	573,049	550,219
仕掛品	244,214	260,399
原材料及び貯蔵品	152,364	271,691
その他	124,160	136,068
貸倒引当金	△1,399	△1,306
流動資産合計	3,256,026	3,671,181
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	324,250	337,876
土地	265,821	265,821
その他（純額）	55,360	67,448
有形固定資産合計	645,432	671,145
無形固定資産	47,123	39,918
投資その他の資産	155,318	185,182
固定資産合計	847,874	896,246
資産合計	4,103,901	4,567,427
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	138,090	194,966
買掛金	183,697	211,364
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	77,236	33,750
未払法人税等	251,139	179,956
賞与引当金	40,845	64,088
製品保証引当金	4,387	4,001
クーポン引当金	1,669	2,271
その他	470,096	502,076
流動負債合計	1,202,163	1,227,475
固定負債		
社債	132,500	110,000
長期借入金	22,500	—
その他	1,272	4,664
固定負債合計	156,272	114,664
負債合計	1,358,436	1,342,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,786	486,200
資本剰余金	467,786	476,200
利益剰余金	1,799,923	2,262,916
自己株式	△29	△29
株主資本合計	2,745,465	3,225,287
純資産合計	2,745,465	3,225,287
負債純資産合計	4,103,901	4,567,427

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,450,903	4,088,917
売上原価	1,157,977	1,482,747
売上総利益	2,292,925	2,606,170
販売費及び一般管理費	1,496,621	1,684,036
営業利益	796,303	922,134
営業外収益		
受取利息	532	0
助成金収入	2,240	28
為替差益	1,178	288
受取和解金	—	10,000
その他	1,236	756
営業外収益合計	5,187	11,075
営業外費用		
支払利息	1,127	592
その他	168	120
営業外費用合計	1,296	713
経常利益	800,195	932,496
税引前四半期純利益	800,195	932,496
法人税、住民税及び事業税	266,883	338,732
法人税等調整額	△2,107	△12,571
法人税等合計	264,775	326,160
四半期純利益	535,419	606,335

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。